

京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

公明党市会議員団、市民目線で政策を実現

通学路安全対策が前進!!



公明党京都市会議員団は、2013年2月22日午前、中京区の朱雀第四小学校前の通学路を訪れ、「通学路緊急安全対策」によって実施された路側帯内のカラー舗装(地道色)を視察しました。

全国の多発する通学路での交通事故を受けて、5月に議員団が提出した緊急要望を受け、門川市長を中心に、教育委員会と建設局が一体となって市内通学路の総点検を実施。危険箇所への迅速な安全対策が各地で実現しています。



通学路のカラー舗装(地道色)を視察 (2/22)

2012年11月21日、公明党京都市会議員団は京都市予算編成にあたり、市民の声を受け止めて集約した187項目にわたる政策要望を門川市長に提出。2月議会に上程された平成25年度京都市予算案には公明党の主張が数多く盛り込まれています。2月28日からの予算特別委員会では最終本会議で採決される予定です。



門川京都市長に予算要望を提出 (11/21)

議員団の提案が25年度予算案に反映

公明党の予算要望が反映された政策の内容

平成25年度京都市予算案(抜粋)

1 京都経済の再生と雇用の創出

- ・買い物弱者対策としての支援事業など
- ・環境・エネルギー分野における技術革新の創出
- ・京都大学iPS細胞研究所の山中教授のノーベル賞受賞を機に、京都発の医工薬分野の技術革新の創出を目指す

2 福祉、医療、子育て支援、教育などの充実

- ・多様な保育サービスの拡充
- ・ひとり親家庭への支援策の拡充
- ・各種介護施設の拡充
- ・いじめ・不登校対策の拡充
- ・ひきこもり地域支援センターの設置

3 防災・老朽化対策の推進

- ・いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト
- ・小中学校の防災機能強化
- ・避難所運営マニュアルの作成

4 環境・文化・地域の魅力の向上

- ・「エコ学区」事業の拡充
- ・LED道路照明灯の設置
- ・自転車安全利用の促進

5 「歩くまち・京都」の推進・まちづくり

- ・京都駅南口駅前広場の整備
- ・駅ナカビジネスの積極推進
- ・駅等のバリアフリー化の推進
- ・無電柱化事業の推進



京都活性化へ!

代表質問

京都市会定例会議の代表質問で、公明党市会議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成24年9月議会では10月2日に大道義知議員(南区)、湯浅光彦議員(右京区)、国本友利議員(左京区)が、11月議会では11月30日に津田早苗議員(伏見区)と吉田孝雄議員(上京区)が質問に立ちました。



だいでう よしとも
大道義知議員「南区」

京都駅南口整備計画について

大道義知議員は、京都駅南口駅前広場整備の交通マネジメントシステム

を提言。阪神高速8号京都線の高架下駐車場を活用して、京都駅南口で待機発着する観光バスを「シヨットガン化」し、交通渋滞の緩和とバス待ち環境の改善を検討することを明らかにしました。

防災・減災対策推進計画について

さらに、地域経済活性化、雇用創出につながる「防災・減災関連事業」を長期的ビジョンですすめるマネジメント手法が重要と指摘。京都市が積極



湯浅光彦議員は、エリメール、NTT災害伝言ダイヤル、携帯電話の災害伝言板、ツイッターなどを取り入れた最新の災害避難訓練(シェイクアウト)を提案。門川市長は防

災害避難訓練(シェイクアウト)について



ゆあさ みつひこ
湯浅光彦議員「右京区」

災意識の高揚と、災害対応力の向上を図る緊急速報メールとシェイクアウト訓練を実施すると確約しました。

若年性認知症対策について

次に、若年性認知症の方の相談窓口を拡充し、高齢者施策の枠を越えた総合的な支援体制を構築するべきであると主張。市長は各支援機関の連携を強化し、総合的な支援体制を確立すると約束しました。

薬物乱用防止対策について

また、覚せい剤や麻薬、

いじめの根絶について

また、いじめを根絶す

的に事業を推進し、財源を確保するべきであると訴えました。門川市長は、「はばたけ未来へ!京プラン」を着実に推進すると答弁しました。

るため、教師力の向上とカウンセリング機能の強化を提唱。教育長は、平成27年度に、全ての小学校にスクールカウンセラーを配置し、スクールソーシャルワーカーも増員する方針を明らかにしました。

大道義知議員のおもな質問項目

- 防災・減災対策推進計画について
- いじめの根絶について
- 京都駅南口整備計画について
- がん教育推進について
- 子ども・子育て支援法への対応について

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 災害避難訓練(シェイクアウト)について
- 若年性認知症対策について
- 薬物乱用防止対策について
- フォレストベンチ工法について
- 小中学校体育館の防災機能強化について



くにもと ともひこ
国本友利議員「左京区」

バイオマスの普及拡大について

国本友利議員は、再生可能エネルギーの更なる発展のために、「バイオマス」普及拡大が重要であると強調。門川市長は京

消防バイクの活用について

また、南海・東南海地震の影響や、直下型地震の大規模災害をはじめ、豪雨による災害に備えるため、消防バイクを積極的に活用するべきであると主張。平口副市長は、祇園祭



などの祭礼や京都マラソンなどのイベントに積極的に活用すると答弁しました。

スマートフォン活用による情報発信について

スマートフォン等の携帯情報端末を活用し、観光案内やバス等の運行状況、各種検診事業や子育て支援などにきめ細かな情報提供をするべきと提案。総合企画局長は、携帯情報端末を活用した情報発信を積極的に展開するためのガイドラインを年内に策定すると答えました。

国本友利議員のおもな質問項目

- バイオマスの普及拡大について
- 消防バイクの活用について
- スマートフォン活用による情報発信について
- 景観政策と地区計画制度について
- エコ学区について

吉田孝雄議員は、障がいのある観光客へのきめ細かな情報提供が重要と指摘し、京都の魅力を熟知し、真心をこめたおもてなしの素晴らしさを体現する民間の方々との連携による「観光コンシェルジュ」制度を早期に立ち上げるべきであると主張。門川市長は、12月に全国に先

観光客へのおもてなしについて



よしだ たかお
吉田孝雄 議員「上京区」

駆けて創設すると答弁しました。



災害用備蓄及び避難所確保について



つくだ さなえ
津田早苗 議員「伏見区」

津田早苗議員は、直下型地震を想定し、食糧や資材を避難所となる小中学校などに分散して備蓄するとともに、最大避難者30万人を収容できる避難所を早急に確保するべきであると直言。門川市長は、市立小中学校の空き教室や民間施設などの受け入れ拡大に全力を挙げると答弁しました。

また、介護予防をいっそう拡充するためにも、「京からはじめるいきいき筋力トレーニング」の普及拠点を拡充するべきと提案。星川副市長は、市内東部と西部に新設すると確約しました。

高齢者への介護予防について



理科教育支援員について

また、子どもたちの理科への興味関心を一層高めるため、引き続き京都市独自で「理科支援員」の配置を継続すべきであると主張。教育長は、配置の対象を中学校まで拡げると答えました。

団塊世代への施策について

そして、「団塊世代」の経験・知恵・能力を活かせる場の創出や、情報提供

さらに、京都市母子家庭等医療費支給条例の対象と所得水準のあり方を

ひとり親家庭への医療費支援について

見直し、一定の所得に満たない父子家庭にも拡充するべきと論じました。(この件は、1月に京都府ひとり親家庭支援施策検討会が正式に実施を答申。具体的に進めることが決定しました。)

を推進する組織を設置するべきではないかと質問。市長は「知恵シルバークンター」運営を充実するなど、多角的に推進する方針を明らかにしました。

津田早苗議員のおもな質問項目

- 災害用備蓄及び避難所確保について
- 理科教育支援員について
- 団塊世代への施策について
- 臍帯血移植について
- 乳がん検診について
- 青少年科学センターについて

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 高齢者への介護予防について
- 観光客へのおもてなしについて
- ひとり親家庭への医療費支援について
- 自転車の安全対策の推進について
- 自転車走行環境について

平成24年市会定例会 意見書・決議

【9月議会】

件名	提出会派	会派名					
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	み・無
意見書	B型・C型肝炎ウイルス患者の救済に関する意見書	○	○	○	○	○	○
	脱法ドラッグとりわけ脱法ハーブに対する早急な規制強化等を求める意見書	○	○	○	○	○	○
	気象事業の整備拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○
	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○
	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	×	○
	税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書	○	○	×	○	○	×
	我が国の領土・主権の護持等に関する意見書	○	○	×	○	○	○
決議	沖縄県での米軍人による女性暴行致傷事件に関する決議	○	○	○	○	○	○
	衆議院の早期解散に関する決議	○	○	○	×	×	○

【11月議会】

件名	提出会派	会派名					
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	み・無
条例	京都市清酒の普及の促進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○
意見書	妊婦健診及びヒブワクチン等への公費助成継続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○
	北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議し、拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○

(注) 公明=公明党京都市議員団
自民=自由民主党京都市議員団
共産=日本共産党京都市議員団
民主=民主・都みらい京都市議員団
京都=地域政党京都京都市議員団
み・無=みんなの党・無所属の会





“政策創造集団”公明党

現場第一主義 公明党出張報告
エネルギー政策と自転車政策を調査
 公明党京都市議員団は、2012年11月12日から2日間、他都市調査を実施しました。初日は、スマートシティ構想を掲げ「エ



京都らしいエネルギー政策を提言

公明党京都市議員団は、毎年テーマを決めて、京都市に対し政策提言を行って参りました。



1月29日、「市民目線」でのエネルギー政策を展開する京都市モデルの探求を提言。市長から、積極的に取り入れていく決意が表明されました。



宇都宮市「自転車の駅」視察 (11/13)



横浜スマートシティプロジェクトを研さん (11/12)

エネルギー政策」に先進的に取り組む神奈川県横浜市を視察。翌日は、栃木県宇都宮市で、最先端の自転車政策を調査しました。

現場第一主義 公明党出張報告

中京区

青野 仁志
 ①1期②まちづくり委員会③政調副会長

左京区

国本 友利
 ①1期②経済総務委員会③政調事務局長

上京区

吉田 孝雄
 ①2期②まちづくり委員会③幹事

北区

ひおき文章
 ①6期②交通水道消防委員会

右京区

湯浅 光彦
 ①3期②くらし環境委員会③幹事

南区

大道 義知
 ①6期②経済総務委員会

下京区

井上 教子
 ①4期②くらし環境委員会

山科区

久保 勝信
 ①3期②教育福祉委員会③副団長

伏見区

津田 早苗
 ①3期②教育福祉委員会③政調副会長

伏見区

曽我 修
 ①3期②交通水道消防委員会③代表幹事

伏見区

谷口 弘昌
 ①6期②交通水道消防委員会③団長

西京区

平山よしかず
 ①2期②交通水道消防委員会③政調会長

公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



京都いつでもコール

市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
 午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855
 ●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
 携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを公明党京都市議員団にお寄せください

- TEL: 075(222)3732
- FAX: 075(212)3608
- 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
- ホームページ: [公明党京都市会](#)

